



2021-22
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために

Rotary

シェカール・メータ

2021~2022年度 標語 諫早西ロータリークラブ
「ビジョンを持って繋げよう未来へ」 会長 毎熊 正太郎



第1712例会 2021年 9 月 22 日例会記録 NO.9 天候 晴れ

【本 日】会員数 46名 出席 41名 欠席 0名 出席扱い 5名 免除 0名 出席率 100.00%
【9/15】会員数 46名 出席 46名 欠席 0名 (MU 0名) 免除 0名 出席率 100.00%

来 訪 者



第 2740 地区 第 8 グループ
ガバナー補佐 森 栄一郎 様 (諫早北 RC)

会 長 の 時 間



毎熊 正太郎 会長

森ガバナー補佐の御来訪を歓迎致します。本日のクラブ協議会、宜しくお願いします。

我が西ロータリークラブでは、今年のクラブテーマを「ビジョンを持って繋げよう未来へ」と掲げました。今はまだ先が見えない、コロナ禍の中ではありますが、四大奉仕委員会が一丸となり、今できる奉仕を未来を見据えて、成し遂げようとしています。

こういう状況だからこそ、今だからできる奉仕、又、絆ができるのではないかと考えています。ロータリーが掲げる四大奉仕の事業が人々の人生を、心を豊かにし、幸せの輪が創っていけるものと信じています。そして、未来のロータリアンがまたその子供に繋ぎ、世界平和の絆へとつながるよう願っています。

幹 事 報 告

【例会変更】

※諫早多良見ロータリークラブより

日時：令和3年9月28日（火）12：30～ 場所：ホテルグランドパレス諫早 ⇒ ZOOMによるオンライン例会

※定款第7条第1節（C）により ※新型コロナウイルス感染拡大防止の為

会 長／毎熊 正太郎 幹 事／江嶋 利満 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日
例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907
事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323
会報委員／野中 英己・友永 俊介・平野 義信・久保 泰正・浦江 芳征
HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

【お知らせ】

※ 2021-2022 年度 地区大会事務局より

「地区大会関係資料等の提出について(お願い)」

提出期限：令和3年10月15日(金)

※ガバナー事務所より

「ガバナー月信」執筆依頼

依頼内容：「ガバナー公式訪問」のクラブ報告

原稿の字数：350字前後

原稿締切：公式訪問後、14日以内

委員会報告



社会奉仕委員会 千住委員長
9月26日清掃活動のお知らせ

スマイルボックス

森 栄一郎ガバナー補佐様(諫早北 RC)：

クラブ協議会は宜しく願います。

毎熊正太郎君：森ガバナー補佐の御来訪を歓迎いたします。

荒木 公義君：森栄一郎ガバナー補佐の来訪ようこそ
お待ちしております。御指導の程、
宜しくお願い致します。

小野 秀喜君：森ガバナー補佐の御来訪を歓迎致します。
御指導宜しくお願いします。

原田 典範君：森栄一郎ガバナー補佐の御来訪を歓迎致
します。

野中 英己君：森ガバナー補佐、諫早西ロータリークラブ
へようこそ。本日、宜しくお願いします。
楽しいクラブですから！

立野 守君：森ガバナー補佐、御来訪を歓迎します。
本日は宜しく御指導願います。

平野 義信君：森ガバナー補佐、今日は宜しくお願い致
します。

福田 和幸君：森ガバナー補佐、本日は御指導宜しく
願います。

山崎 祥弘君：ガバナー補佐公式訪問歓迎します。

吉田健一郎君：森ガバナー補佐の御来訪歓迎致します。
本日は御指導宜しくお願いします。

永井 栄次君：森ガバナー補佐の御来訪歓迎致します。
本日の協議会宜しくお願いします。昨日、
日高さんにゴルフ勝ちましたのでニコニコ
します。

日高 正朗君：森栄一郎ガバナー補佐の御来訪を歓迎し
ます。今日は宜しくお願いします。

早田 和彦君：朝夕は季節の変わり目を感じますね。
森ガバナー補佐宜しくお願いします。

南部 仁君：森ガバナー補佐、ようこそいらっしゃい
ました。大いなるご活躍をご期待してお
ります。

千住 良治君：森ガバナー補佐、本日はお越しいただき
ありがとうございます。メンバーの皆様
9月26日7時からの清掃活動宜しく
お願い致します。

古賀 秀次君：森様、本日はありがとうございます。

柏木 恒文君：昨日ゴルフで勝ちました！森ガバナー
補佐の御来訪を歓迎します。

本日の合計 (9/22)

¥37,000

累計額

¥287,620

森ガバナー補佐訪問クラブ協議会



森栄一郎ガバナー補佐
(諫早北 RC)

ガバナー補佐エレクト
久保 会員



第2740地区ロータリー奉仕デー環境美化プロジェクト

9月26日(日) 第2740地区ロータリー奉仕デー環境美化プロジェクト
諫早公園の清掃活動を 30名の参加のもと行いました。

眼鏡橋周辺から諫早公園の頂上部までメンバー一人ひとり思い出を語りながらの清掃活動を行いました。

晴天の空のように、清掃後はすがすがしい1日のスタートとなったのではないのでしょうか。



ロータリーの友9月号『卓話の泉』より

弁護士への頼み方

松田・科埜法律事務所 所長 松田 親男

初めて弁護士に相談する人は、何が話すべきポイントなのか分からない人がほとんどです。どう話したら弁護士にポイントを押さえた説明ができるのでしょうか。

まず、何を依頼したいのか、建築紛争なのか離婚相談なのか、労働事件では、自身の地位保全なのか、賃金をもらったら辞めてもいいのか、などをはっきりさせます。

相談は個別にします。離婚相談で女性の父親が付き添ってきたことがあります。親の前では言いにくいこともあるため、本人だけと話す必要があります。遺産分割の相談では、相続人の利害が対立することもあるため、一度に全員から話を聞けません。

続いて、関係する人物をまとめ、時系列表や目録をつくっておきます。ただ不満を主張するだけでは前へ進みません。関係する人それぞれの名前と簡単なプロフィールを一覧表にし、何年何月何日に何があったかを伝えると、背景が浮かんで見えてきます。

さらに、交通事故で現場や車両などの写真を伴う場合は、撮影の場所や撮影方向などを記載した図面を作製します。現場写真に加えて、どこからどの角度で撮影したのかが分かると、全体像を知ることができます。

弁護士に伝えるべき事実は、「いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのように」。5W1Hなどの要件事実が必要になります。

証拠や資料は全て持参しましょう。日記や手紙など見過ごされがちなものが証拠となり、意外と役に立つことがあります。

不利な事実も正直に話します。不利と思った事実が逆に有利に働くこともあります。正直に伝えていないと裁判の証人尋問で弁護士が立ち往生することもあります。

また、時効や提訴の期間には制限があるため、手遅れになる前に相談してください。

裁判所は「事実認定を争う場」です。事実を客観的に説明し、いち早く弁護士に全体像を把握してもらうことが大切です。

(第2660地区・大阪府・千里メイプルRCにて・同RC会員)

2021-2022 年度 国際ロータリー (RI) 会長
シェカール・メータ

親愛なるチェンジメーカーの皆さん

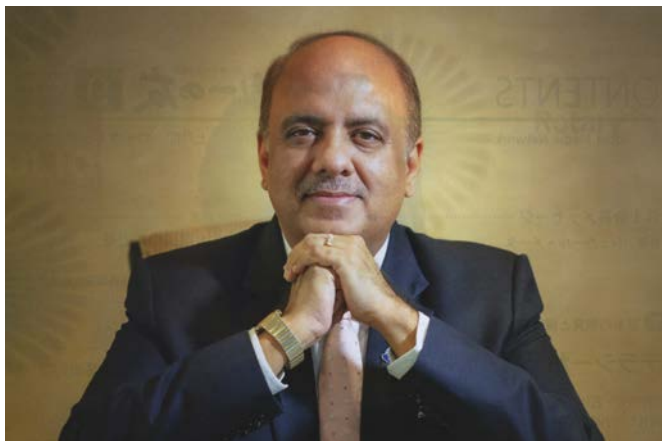
誰かの人生を豊かにするために皆さんが奉仕することで、皆さん自身の人生も経験豊かになっていくと私は確信しています。読み書きができるように支援することも誰かの人生を豊かにする一つの方法です。読み書きができるようになると、新しい世界が開けます。生活の情報がより入ってくるようになり、他の文化が理解できるようになります。読み書きを覚えることで人々とつながることができ、他の人を思う心を言葉で表現できるようになります。

9月は基本的教育と識字率向上月間です。識字率の向上は、貧困からの脱却、健康の増進、平和の推進という私たちが目的とする活動において非常に重要です。低所得国で全ての子どもたちが基本的な読解力を習得すれば、世界的な貧困率が大幅に低減するのです。

学びのチャンスがなければ、読み書きができない子どもは読み書きができない大人になるだけです。今日では、全世界の成人人口の14% (7億6,200万人) が基本的な読解力と文章力を習得していません。その3分の2が女性です。読み書きの能力と数的思考力は、一生の間によりよい住宅、健康、雇用の機会を手にするために必須のスキルです。

特に女性にとって、読解力の有無は生死に関わることもあります。全ての女子が初等教育を修了できれば、衛生観念も身に付き、出産で命を落とす女性の数は激減するでしょう。また、読み書きができる母親の子どもは、5歳になる前に命を失う可能性が低くなります。世界中でより多くの人々の人生をより豊かにするには、各国政府が女子の教育への障壁をなくさなくてはなりません。男子中心の学校教育を行っている国では、経済的な機会損失は年に10億ドル以上にも上るという説もあります。

教育によって人々に力を授けることこそ、私たちがロータリアンとして掲げる目標の中でも、最も果敢な目標です。読み書きができないために誰かに



読んでもらわなければならなかったり、自分の名前しか書けなかったりと日々の暮らしがままならない人々は、決して遠い存在ではありません。

どうすれば識字率向上によって人々の暮らしを豊かにするための奉仕ができるか、今月はその方法を模索してみましょう。大人に読み書きや地域で話される言語を教える無料プログラムを提供している地元の団体や、読み書きに重点を置いた教師の専門能力開発を行う団体を支援しましょう。識字率向上のメンターになりましょう。世界中の子どもたちの学習機会を増やすために活動している Global Partnership for Education などの団体と協力しましょう。地元の学校や図書館に、既に行われているプログラムを支援できないか、または地元で必要とされているプログラムを立ち上げられないか、相談してみましょう。

インドのロータリークラブとインド政府が協力して大きな成果を挙げた TEACH program は、大規模な識字率向上プログラムを行うことにより、何百万人もの子どもたちを支援することができました。新型コロナウイルスのパンデミックのためインド中の学校が休校になった際には、このプログラムはEラーニングにより国営放送を使って、1億人を超える子どもたちに教育を提供しました。

読み書きの習得は、貧困を脱出するための第一歩です。ノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんが言うように、「1人の子ども、1人の教師、1冊の本、1本のペン、それで世界を変えられる」のです。